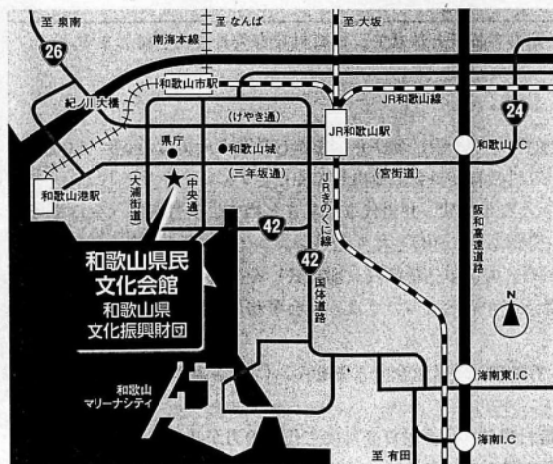


平成30年度近畿地区社会教育研究大会[和歌山大会] 参加申込票

ふりがな			所属名	
氏名			職名	
希望分科会 (分科会番号を記入)	第1希望		昼食弁当申込 (いずれかに ○印を記入)	要・不要 (お茶付き 1,000円)
	第2希望			
大会参加方法	1 公共交通機関 2 貸切バス・マイクロバス(公用も含む) 3 普通乗用車(公用も含む)			(いずれかに○印を記入)

- ※ 所属名は、市町村名、課名等を記入してください。
- ※ 職名は、社会教育委員、社会教育課長、社会教育主事等を記入してください。
- ※ 希望する分科会は、1～5の分科会番号を記入してください。なお、会場の都合等により第2希望となる場合もありますので、予め御了承願います。
- ※ 「昼食弁当申込」は、要・不要について、○印を記入してください。
- ※ 「大会参加方法」は、1～3の該当の番号に、○印を記入してください。
- ※ 可能な限り公共交通機関を御利用ください。

会場案内



- 和歌山市までのアクセス**
- JR 阪和線(きのくに線)「和歌山駅」下車
 - 南海電鉄 南海線「和歌山市駅」下車
- 和歌山県民文化会館へのアクセス**
- JR 「和歌山駅」より
 - ・バス 約10分(2番のりば)
「県庁前」バス停下車
(バス停より約300m 徒歩約4分)
 - ・タクシー 約10分
 - 南海電鉄「和歌山市駅」より
 - ・バス 約10分(9・10番のりば)
「県庁前」バス停下車
(バス停より約300m 徒歩約4分)
 - ・タクシー 約5分
 - ・徒歩 約20分
 - 阪和自動車道「和歌山I・C」より
 - ・お車で約15分(約4Km)

平成30年度近畿地区社会教育研究大会事務局
(近畿地区社会教育委員連絡協議会事務局)

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地
和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課内
電話 073-441-3720 FAX 073-441-3724

平成30年度
近畿地区社会教育研究大会[和歌山大会]

平成30年度和歌山県社会教育研究大会

開催要項

- 1 趣 旨 近畿各府県社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究の成果について交流を深め、今後の社会教育活動の一層の振興を図るとともに、時代の変化と社会のニーズに応じたこれからの社会教育のあり方について研究協議を行う。
- 2 研究主題 『人と人のつながりを築き、絆を深める社会教育』
～故郷への愛着と誇りを大切にしながら～
- 3 開催日 平成30年9月7日(金)
- 4 主催 一般社団法人全国社会教育委員連合 近畿地区社会教育委員連絡協議会
和歌山県社会教育委員連絡協議会 和歌山県教育委員会
- 5 主管 近畿地区社会教育研究大会実行委員会
- 6 後援 (予定) 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会 大阪府教育委員会
兵庫県教育委員会 奈良県教育委員会
- 7 会場 〈全体会場〉和歌山県民文化会館(和歌山市小松原通一丁目1番地)
〈分科会場〉和歌山県民文化会館
ホテルアバローム紀の国(和歌山市湊通丁北二丁目1-2)
和歌山県自治会館(和歌山市茶屋ノ丁2-1)
- 8 参加対象 近畿各府県市町村社会教育委員・社会教育関係者等
- 9 参加費 2,000円(資料代)
- 10 大会日程

9:40

開場・受付開始(県民文化会館 ホール前ロビー)

全体会

10:20

開会行事

- ◇開会のことば 和歌山県社会教育委員連絡協議会副会長
- ◇主催者あいさつ 近畿地区社会教育委員連絡協議会会長
一般社団法人全国社会教育委員連合会長
和歌山県教育長
- ◇祝 辞 文部科学省
和歌山県知事
- ◇来賓紹介

11:00	記念講演 演 題 「高野山開創 1200 年 ～その歴史と文化～」 講 師 山陰 加春夫 (高野山大学名誉教授)
12:20	閉会行事 ◇次期開催府県あいさつ 兵庫県社会教育委員協議会会長 ◇閉会のことば 和歌山県社会教育委員連絡協議会副会長
12:30	【休憩・移動】 分科会
13:40	分科会 (以下のとおり)
15:40	終了予定

* 当日の服装は、クールビズ (軽装) で実施します。

11 分科会 (和歌山県民文化会館、ホテルアバローム紀の国、和歌山県自治会館 各分科会場)

1 環境教育 (滋賀県)	テーマ	琵琶湖・河川をフィールドにした環境保全活動
	報告の 要 旨	地元の小学生を対象にしたヨシ苗の植栽体験、琵琶湖固有種のピマスを市内河川に戻す取組など、多様な主体による環境保全活動の取組を報告する。
	討議の ポイント	・地域の子供たちに、いかに環境について関心を高めていくかについて ・身近な環境のみならず、河川から琵琶湖に通じるつながりを意識してもらえらるための取組について
2 人権教育 (京都府)	テーマ	継続は力なり ～地域社会総がかりによる人権尊重の町づくりを目指して～
	報告の 要 旨	同和問題の早期解決と人権意識の向上を目指す笠置町における、地域社会総がかりによる人権尊重の町づくりの中心的役割を担ってきた笠置町同和教育推進協議会の長年の活動・取組を報告する。
	討議の ポイント	・地域社会総がかりによる人権尊重の町づくりをどのようにしていくか、また、どのように取り組んでいくかについて ・人権教育を進める上での社会教育委員の役割について
3 学校・家庭・ 地域の協働 (大阪府)	テーマ	地域と学校・家庭がつながり広がる教育コミュニティづくり [※] ～地域コーディネーターの様々な実践を通じて～ [※] 「教育コミュニティづくり」：大阪府が取り組む地域と学校のパートナーシップに基づく「連携・協働」の活動
	報告の 要 旨	地域全体で子供たちの豊かな学びを支えるために、地域の人がつながり協働し、「顔と名前が一致する人間関係」を育む多様な活動の報告と、その活動の中心となり地域と学校・家庭をつなぐ地域コーディネーターの実践について報告する。

	討議の ポイント	・学校と地域が協働した活動を進めていくために、地域コーディネーターまたは地域学校協働活動推進員に求められる役割について ・多様な取組へと展開するために、学校・教職員への理解や地域住民の参画を進める方法について
4 青少年教育 (兵庫県)	テーマ	「地域人材から学ぶ本物のワザ」～公民館で育む生涯学習の基礎～
	報告の 要 旨	専門性を有する地域人材と公民館などの社会教育施設を有効活用した、土曜日の子供向けの文化的体験学習における実践を報告する。
	討議の ポイント	・講座内容の充実と人材確保について ・伝統文化をはじめ、地域の子供と大人が学び合える仕組みづくりの推進について
5 学校・家庭・ 地域の協働 (奈良県)	テーマ	地域と学校が協働して創り上げ運営する3つのプロジェクト ～幼児から高齢者までの社会力向上を目指して～
	報告の 要 旨	地域と小学校が共に立ち上げた3つのプロジェクト①地域への図書館開放『みんなのとしょかん』、②公民館放課後学習『町力塾』、③なりた職業体験『夢応援プロジェクト』における実践を報告する。
	討議の ポイント	・学校への応援から地域全体への応援にシフトする協働について ・新たに地域で立ち上がった組織と学校の協働について ・学校運営組織に地域のメンバーが参画する協働について ・地域の幼児から高齢者までの社会力向上について

※各分科会の場所については、8月に配布予定の参加証と併せて、市町村教育委員会に送付します。

12 参加申込

- ◇ 参加者は、下記の「参加申込票」に参加費 (2,000 円) 及び弁当を申し込まれた方は、代金 (1,000 円) を添えて、6月29日 (金) までに各市町村教育委員会に提出してください。
- ◇ 各市町村教育委員会は、「参加申込票」及び参加費・弁当代をとりまとめて、7月6日 (金) までに各府県教育委員会生涯学習・社会教育主管課あてに送付してください。
- ◇ 各府県教育委員会は、参加をとりまとめ、参加申込総括表 (別様式) を7月13日 (金) 必着で大会事務局まで送付してください。参加費及び弁当代については、大会事務局が指定する銀行口座にお振り込みください。
なお、参加費及び弁当代については、参加申込後は返金できません。(悪天候等に伴う大会中止及び欠席の場合においても同様とします。)
- また、欠席の方の資料については、市町村単位で大会当日受付にて代理の方が必ず受領してください。
- ◇ 参加証と弁当引換券及び分科会場案内図を大会事務局から各府県教育委員会を経由して各市町村教育委員会へ送付します。
- ◇ 宿泊につきましては、各参加者で会場近隣のホテル等を御予約ください。